

# 神樹の会会報

No. 17

平成元年 3月 15日

発行所：神樹の会

発行人：牧野一夫

本部事務所（六甲作業所内）

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

☎821-1533

六甲作業所、東部生活訓練所

〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号

☎821-1533

垂水作業所

〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号

☎782-9675

福祉の店“いたやど”

〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12

☎733-2477

## 自立と連帯

神樹の会

会長 牧野一夫

およそ人間が人間としての誇りをもつためには、自分のことは自分でできるとともに、弱きものに対する協力を惜しまないところにある。たとえ障害や病弱のため直接には身近の処理が困難であっても、精神的には自立心を失ってはならない。

神樹の会創設の精神的意義もまた「自主・連帯」でなければならぬ。自主といってもそこには自ずから限界があつて、障害児者の生涯を個々の力で支えることができないのは当然のことである。ただ国や県市並に善意ある市民の協力を得るといふ依存的姿勢が本義となつてはならないと思う。そしてまた、わが子が直接会の援助を得ていないからとの理山で、協力を熱意を欠くというのをもまた憤みたい心情である。連帯の精神がなければ会の維持発展は望めない。お互いに苦惱を分かちつつ、一層強く心を寄せ合おうではないか。

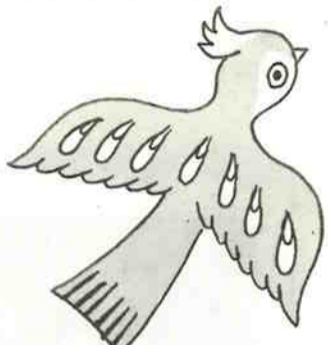
## 共に生きる

社会の達成を……

友生養護学校

校長 増田龍昭

平成の年を迎え、新しい時代の到来を待ち望む声が聞こえます。もちろんこれ直ちに世の中が変わるはずはなく、大切なのは「大いなる平和の達成」という平成の意味の実現に努めることだと思います。今も世界のどこかで互いに傷つけあう人がいるのは不幸なことです。そこには力の弱いものをないがしろにしたり、異質なものの存在を許さない傲慢さが感じられます。平和の達成は単に戦いを否定するだけでなく、人々の心に愛と理解の灯をともしることにあります。このことは障害児がともすれば阻害されがちな今の社会にも同じことがいえます。それは声高に訴えるだ



## 日々の着実な努力が……

垂水養護学校 校長 水野 整一

平成の新しい年を迎えました。政治、経済など国の内外にいろいろな問題をかかえ、むずかしいときであることには変わりありません。中でも社会福祉の問題については欧米先進諸国にくらべまだまだ満足いくものはありません。子ども達の幸せを願わない親はないが、とりわけ障害児を育てる運命を担った両親はその深い思いにさいなまれる日々であるかと推察されます。障害者の社会の壁はま

まだまだ厚く彼らもつと社会の中に自然に受容される日が一日も早く到来するよう願わずにはいられません。このような願いを実現するために精力的に活動している神樹の会には、各方面から大きな期待が寄せられ、ワークホーム明友の開設やバザーへの協力などをみても、多くの人の心に連帯の輪が広がりにつつあることを示しています。牛歩の歩みであっても日々の着実な努力が神樹の会の益々の発展につながっていることは確かです。会の発展のために私はもちろん本校職員も精一杯協力を惜しまないで頑張りたいと思います。

## 今のまま

輝いて欲しい

友生養護学校

下原伸子

まだ小さいと思つていっているうちに、わが子もこの四月には中三、高校までいくとしてもあと五年しかありません。卒業後はどうなるのかしら、週一回のデイサービスのみのみで、外にかけられる機会も少なくなり刺激のない単調な日々になって、せつなく開きかけた心も、だんだんと閉ざされてしまふ淋しい思いをするのかしら……。せめて好きなときに出かけられて、いろいろな人達に出合せて、この子の瞳が、今のまま輝いたままでいて欲しい。身体は動かすことはできなくとも感動する心はもつているのだから。元気な人達でさえ生涯教育が叫ばれているこの頃、この子達にこそ生涯教育（訓練も含め）が必要なのではと思ひます。毎日は望めなくても、せめて週に二、三回はこの子に出来るいろいろのことを体験させてあげたい。そんな場所（設備）と指導して下さる先生方がいて下さればと切に望まずにはいられません。生きていく幸せを肌で感じる日々を送らせてあげたい。

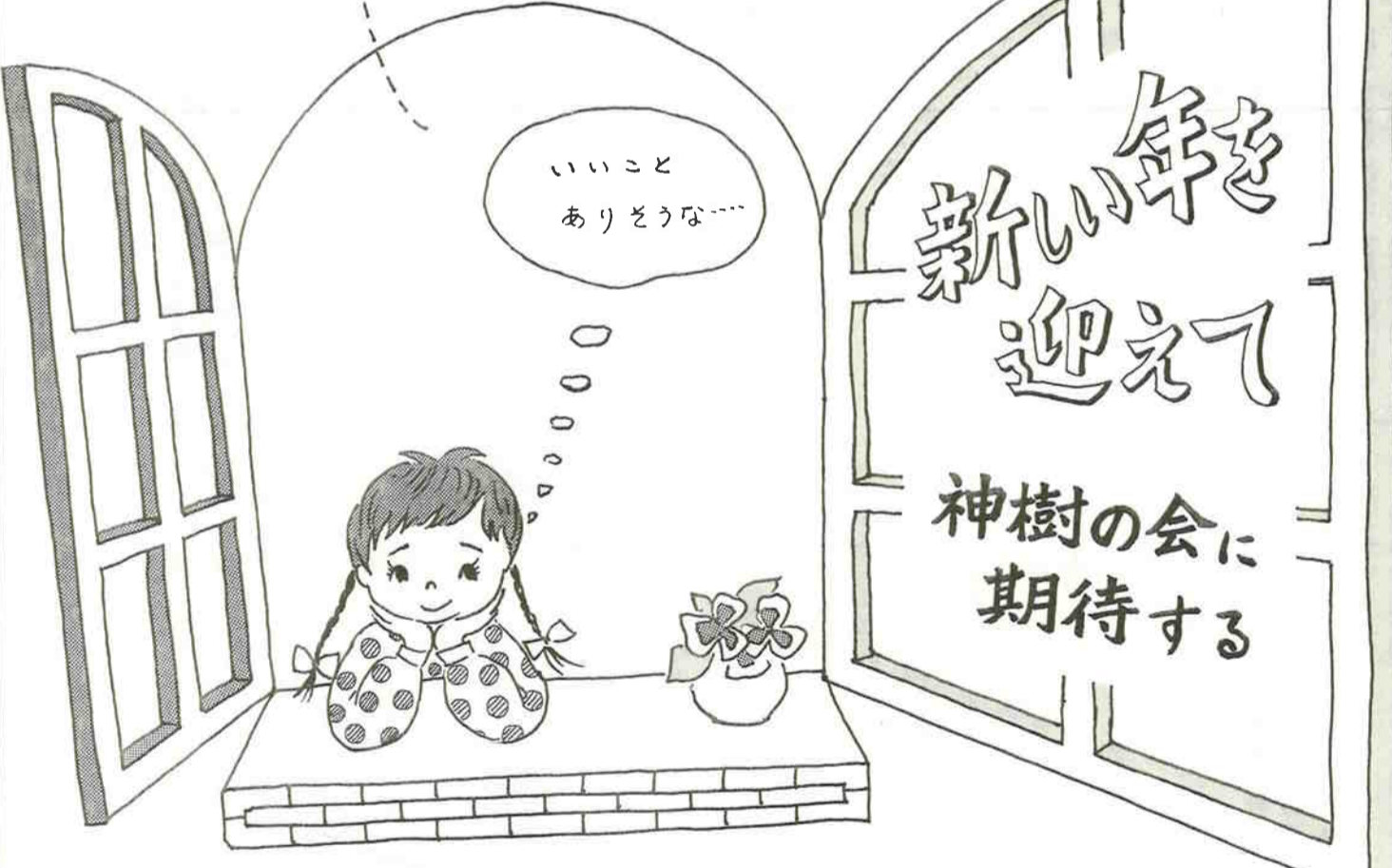
（中学部二年 母親）

## プツンにならぬよう

垂水養護学校 徳山 順子

先日アルバムを見ていたら、いちご狩の写真があつた。小さな手でいちごを摘むその顔はあどけなく、ふくらんだ頬が陽光で輝いていた。親子でシヨックから立ち直つたころの思い出深い一枚である。幼稚部に入学したばかりのこの頃は、這つたり転がったりする子らを見ては涙ばかり流していた。あれから八年、今やママずぶとい母になりました。年に一度のバザーを通じて「神樹の会」の存在も知りました。当初の先輩たちの苦勞話を聞くにつけ、又活動の歩みを知るにつけそのパワーに脱帽です。会は私達にとつてたのしい「ふところ」です。できれば年一回、先輩母さん達と交流の場をもちたいと思います。又、私のように将来故郷に帰るものはそれでプツンにならぬよう、各地の会が手をむすび情報交換できるように全国的な組織になればいいなと思ひます。平成元年の初夢が正夢になりますように……。

（小学部六年 母親）



いいこと ありそうな……

去る三月二日友生・垂水両養護学校において高等部卒業式が挙行された。友生五名、垂水十三名の卒業生は、校長先生や来賓の方のげましを受け、社会へと巣だつていった。今年度の卒業生の進路は、下記に表しているように二十名中（みどり学級二名を含む）デイサービス希望が十一名である。既設の二箇所がすでに定員オーバーであるため、四月よりワークホームの一部屋で新たにスタートすることになった。六十二年四月にワークホーム明友が発足してから二年経つが、順調に運営され次に事業を拡張されることはたいへん喜ばしいことである。これから建物やその他諸設備が準備されねばならないからたいへんと思われるが、どうかこれからの卒業生のためにも是非充実して欲しいものである。

# 卒業

# それぞれの道へ



友生養護学校卒業生修学旅行にて

## デイサービス事業 ワークホーム明友でスタート



垂水養護学校卒業生  
玄関前にて先生方やお母さん方といっしょに

### OBに仲間入り

卒業生のお母さんに聞きました。



- \* 週一回近くのデイサービスに通います。子供の体力から考えると希望通りになりました。
- \* 授産施設に行きます。子供にぴったりの合った場所というのはなかなかありませんね。
- \* 就職をする前に歩行をしっかりと身につけたので、リハビリに一年専念します。
- \* デイサービスに通うのに子供が大きい親は年をとってくださる是非リフト付きバスを願っています。
- \* 大学進学を希望、健康な人の中で生活をし社会参加させたいと思っています。
- \* 六甲作業所に通いながら、火曜教室にも参加しようと思っています。
- \* 子供の体調が安定しないので在宅し、絵画教室にかよったりユニケーション訓練に励みます。
- \* 明友のデイサービスに行きたいのでリフト付きバスを出してほしい。
- \* 普通なら空きのないところですが運よく希望のところにに入れて喜んでいきます。

## 訓練や社会参加もかねて

早いもので星陵園が発足して六年目になります。毎年度新入所者を迎える籍数も二十名になりました。障害の方も年々重度多様化しており、多種の問題を抱えています。しかしこの五年間で徐々にではありましたが内容も充実してきました。最重度の園生達でも自分自身の手で触れながら出来るロウソク作りは、訓練や又社会参加もかねて授産の一つにとり入れていきます。園生のペースに合わせて皆ワイワイガヤガヤいながらロウソクが、たくさんの人々の手に渡ってささやかな灯火をとまされていくことを思いうれしく思っています。  
(垂水希望の家デイサービス事業指導員)

希望する進路 (1名)

・進学希望	1名
・授産施設(カリア稲穂園明友)	1名
・デイサービス(明友星陵園愛生園)	11名
・美術教室・コミュニケーション訓練	1名
・神樹の会六甲作業所	1名
・訓練センター	1名
・オクスフレンド	1名

## おねがいしよす！ リフトつきバス

- \* デイサービスの区割り方針に期待しています。親と子供の体力のことを考えると、やはり家の近くにあればいいなと思います。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。
- \* 親の身体が弱いので子供についてデイサービスに通えませんが、ボランティアを探すと何か対策を考えているところなんです。

## このゆびと〜まれ〜

喜びと感謝  
東部生活訓練部  
部長 出口恵美子  
早いもので卒業して六年になります。卒業後も好きな絵だけは続けたいという本人の希望で先生にいろいろとお骨折り頂き東部いこの家の場をお借りして絵は続けていくことになりました。これが東部生活訓練部の始まりです。数人で習い始めた油絵も、年月を重ね

る度に友達も増え、この春には十五名になります。子供たちは素直で、心のやさしい子が集まっています。「おはようございます。今日もよろしく」と朝の挨拶午前中は油絵、習字、社会、訓練、自分の好きな科目を選び明るい雰囲気の中で努力をしています。博之は油絵を、子供の出来ないところを介助し一本の絵筆を母と子で書きます。絵の先生、習字の先生、退職された先生方がボランティアとして子供たちに暖かい手をさしのべてくださり感謝の気持ちでいっぱいです。ほかのお母さんも大変で昼食の用意を：テーブルに並ぶ料理は愛情のこもった品ばかり、みなで頂くお昼ごはんはなごやかで

子供にも笑顔が見えます。こんな時は幸せを感じ今日も元気で参加出来たことをうれしく思います。午後は将棋、オセロ、粘土と限られた時間までそれぞれにたのしみながら過ごしています。これからも健康に気をつけてチャンスがあればできるだけに又友達の中へ連れだしてやりたいものです。

東部生活訓練部はこのようなすばらしい会に成長しています。多くの方々のお力添えと協力があればこそ心から感謝しています。障害も重度化している現在親と子供が気軽に集まり話合いながら何かを学べる場所が数多くできることを願っています。



## あとがき

新しい平成の時代の幕が開けられました。しかしどのような時代になっても私達神樹の会の歩みはいつも同じです。お互いに悩みを分かちつつ頑張りましょう。今号から紙面が大きくなりました。ご執筆をいただき感謝します。  
(西村、西原、武繩、宮脇)



感謝  
昭和六十三年度に次の方々から計五十三万七千五百二円の寄付を頂きました。(敬称略)  
わかば会、守屋幸子、川辺良一、谷口エキ、高田利彦、高西義広、村田建設、奥野洋子、今井慶子、須磨の浦女子校パイオニアクラブ

OBコーラス部誕生  
去る一月二十二日に行われた新年会でOBのコーラス部が始めてお披露目をしました。ぐっと歌いこんでいる学校のお母さん方にははるかおよびませんでした。ピアノの寄付もありこれからが楽しみです。

神樹の会の会員名簿  
平成元年度中に会員名簿が新しくなります。住所に変更ある方は、事務局までご連絡下さい。

テレホンカード販売  
神樹の会では平成元年を記念し、また本年度より卒業生にお祝いとするためテレホンカードを作成しました。ご希望の方は販売部まで申し込んで下さい。一枚七百五十円です。

先生報のす  
坂田政泰の会  
の突然の会  
に接し哀悼  
を深く表  
意を

